

問 市民に身近な「生活保護のしおり」に

「生活保護のしおり」の存在やその内容を市民が知ることができるよう市ホームページへの掲載やこのしおりを公共施設のパンフレットスタンドに置くなどの工夫をお願いしたい。また、しおりの扶養照会については誤解が生じない表記に改めていただきたい。

答 設置の検討や内容の見直しを行う

生活保護制度について、より多くの市民のかたに知っていただくため、「生活保護のしおり」の窓口への設置及び市公式ホームページへの掲載を検討していく。

また、相談者に誤認が生じないように、内容の見直しを行う。



山崎巨裕 議員
(日本共産党)

問 防犯灯等LED化事業の拡大を

本事業の実施により、「夜道が明るくなった」、「体育館が明るくなって使いやすくなった」など、市民から喜びの声が聞こえてくる。これにより電力を60%削減でき、10年で経費も回収、省エネ効果も抜群である。未実施の公共施設のLED化を急いではいかがか。

答 大規模改修などの際に整備していく

一括して交換することは大きな財政負担を伴う。

そのため、公共施設等のマネジメントの観点を踏まえながら、施設の大規模改修や照明自体の交換のタイミングにおいて、電気料金とCO₂削減効果の高いLED照明を整備していきたい。



問 歩行者の安全確保を

昨年、白岡^{しんぢん}2新田地区の神田商店付近で散歩中の歩行者が車両にはねられ死亡する事故があった。原因の一つにその歩道は夜間暗いと付近の住民から苦情が出ていた。

事故後の対応をどうしたのか。

答 現場診断に基づく安全対策を実施した

県警察本部等と行った現場診断の結果、県警察本部が新たに横断歩道の標識を設置した。市は、歩行者保護と車両速度抑制のため、事故現場付近へのポストコーンの追加設置、当該交差点付近の防犯灯のLED化、歩道への注意喚起標示の設置を行った。



中川幸廣 議員
(白岡ビジョン)

問 重度訪問介護について伺う

重度訪問介護とはどのような内容なのか。また、市内には対象者が何人いるのか。

重度訪問介護のサービスを受ける料金はどのようになるのか。

答 障害福祉サービスの一つである

常時介護を要するかたが利用する障害福祉サービスで、排せつ、食事、体位交換の介助、清拭、痰吸引等を行うものである。対象者は3人である。料金は、月ごとの利用者負担の上限額があり、利用したサービス量にかかわらず、それ以上の負担は生じない。

